

期間 27年 1月14日(水)～3月4日(水) [全7回]

応募締切
26年 12月26日(金)

実施場所 九州国際大学地域連携センター(サテライト・キャンパス)
〒806-0021 八幡西区黒崎3-15-3 コムシティ2階 (38ページ地図参照)

申込・問合せ先 九州国際大学地域連携センター 担当：今井・片山
〒806-0021 八幡西区黒崎3-15-3 TEL：631-2203 FAX：631-2204

時間 18:30～20:00

定員 30名

受講料 4,000円

コース概要

実施機関：九州国際大学地域連携センター

世界史とはパズルのようなものです。ひとつのピースを手がかりに、多くの謎(=ミステリー)を解き明かしていく、まさに推理ゲームです。学生時代の「暗記する」世界史ではなく、大人の「愉しむ」世界史を学ぶことで、受験世界史では味わえなかった「歴史の謎解き」に一緒に挑戦してみませんか。

今回はワークショップなども取り入れ、歴史を学ぶ楽しさをより一層感じてもらいたいと思います。

月 日	テーマ・内容	担当講師
1月14日 (水)	「赤毛のアンが過ごしたカナダ」 L.モンゴメリの名作『赤毛のアン』。主人公のアンが過ごした時代のカナダはどのようなところだったのでしょうか。政治や経済だけでなく、生活文化の視点から観察していきます。	九州国際大学 教授 宇都宮 浩司
1月21日 (水)	「『会計』の発見」 最初の「ビッグ・ビジネス」を生み出した鉄道!しかし、鉄道は規模が大きいだけでなく、近代管理の原型も作り上げました。その歴史を「会計」発見の視点から紐解いていきます。	九州国際大学 助教 田尻 敬昌
1月28日 (水)	「帝国の番人」 大英帝国の形成と緊密に結びついていた多くの特許会社。その特許会社のうち東インド会社とハドソン湾会社を取り上げ、交易の担い手から植民地の支配者へと変貌する様子を観察していきます。	九州国際大学 教授 宇都宮 浩司
2月4日 (水)	「クロスロード」(ワークショップ) クロスロードとは「岐路」や「分かれ道」のことで、従来は災害対応の際に生じるジレンマを伴う重大な決断を疑似体験するゲームです。 今回は歴史上の様々な重大な決断の場面を想定し、受講生の皆さんが同様の決断をするのか、あるいは「別のシナリオ」を選択するのか、歴史の学びの新しい一面を一緒に楽しんでみたいと思います。	九州国際大学 教授 宇都宮 浩司 職員 榎原 英樹
2月18日 (水)	「恐慌物語」 1929年に始まる世界恐慌とニューディール政策の関係は有名ですが、その前後の社会状況や経済政策はあまり知られていません。「小さな政府」をスローガンにしたニューディール以前の政策を中心に「不況」時の政策をめぐる論争を紹介します。	九州国際大学 教授 宇都宮 浩司
2月25日 (水)	「繁栄の光と影」(ワークショップ) 第二次世界大戦後、世界経済は欧米を中心に繁栄の時代に突入します。しかしその一方で、飢餓や貧困などさまざまな問題が深刻化していきました。いわゆる南北問題の顕在化です。この格差がもたらした問題を「貿易ゲーム」を通じて疑似体験してもらいたいと思います。 ※九州国際大学基礎教育センターで考案したルールを導入しますので、既に貿易ゲームを経験された方にも楽しんでもらえると思います。	九州国際大学 教授 宇都宮 浩司 基礎教育センター 職員 宮崎 由真
3月4日 (水)	「キッチン革命」 大航海時代にヨーロッパの食卓にもたらされたさまざまな食材。これらの食材は人々の味覚に変化をもたらしただけでなく、それを調理する器具まで大きく変えることになりました。この生活上の変化をキッチンの変化から観察していきます。	九州国際大学 教授 宇都宮 浩司